

企画展

竹久夢二と乙女たち

あこがれの美人、ときめきのモダンライフ

2022年4月9日(土)～5月30日(月)

かわいくて、おしゃれで粋で、どこか切ない……

夢二が描いた乙女たち、夢二にあこがれた乙女たち

大正時代から昭和時代初期にかけ、物憂げな美人画で一世を風靡した竹久夢二は、画家として活躍しただけでなく、グラフィックデザインの領域でも時代を先取りする作品を生み出しました。夢二の魅力は、懐古趣味とモダンな感覚、退廃性と可憐さが同居しているところにあります。当時の女性たちは夢二が描いた美人に憧れ、そのイメージを装いに取り入れたり、夢二がデザインしたグッズを買い求めたりもしました。

ファッションや身の回りの小物、文芸、そして音楽まで、生活の様々な場面を彩った夢二の仕事は、露谷虹児や中原淳一といった後続の作家たちにも受け継がれ、女性たちの暮らしに華やぎを添えました。

本展では竹久夢二の美人画をはじめ、書籍や雑誌、楽譜などグラフィックの仕事、そして夢二と同時代、あるいは後を追って活躍した画家たちの作品を多角的に紹介し、大正・昭和の乙女たちを魅了したイメージのひみつを探ります。



- 【主催】 島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、中国新聞社、BSS 山陰放送
 【後援】 芸術文化とふれあう協議会
 【特別協力】 竹久夢二文学館神戸文庫有限会社 【企画協力】 株式会社アートワン
 【休館日】 毎週火曜日（ただし5月3日は開館）
 【開館時間】 9：30～18：00（入館は17：30まで）
 【観覧料】 企画展 一般：1,000(800)円、大学生：600(450)円、小中高生：300(250)円
 企画・コレクション展セット 一般1,150(920)円、大学生700(530)円、小中高生：300(250)円
 ※()内は、20名以上の団体料金
 前売券 一般：900円（企画・コレクション展セット）
 【問合せ先】 〒698-0022 島根県益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」内 島根県立石見美術館
 TEL 0856-31-1860 FAX 0856-31-1884 <http://www.grandtoit.jp>
 担当：[広報] 吉岡、田原 [学芸] 川西

TAKEHISA Yumeji and Maidens
Beauty, Graphics, and Modern Life

乙女たちを魅了した、4つのトキメキ★ポイント

1、江戸情緒、粋な美人

歌舞伎や浮世絵に代表される江戸の情緒、美男美女の艶姿は、大正・昭和の時代も、そして現代も、私たちを魅了し続けています。



3、モダンガール、モダンライフ

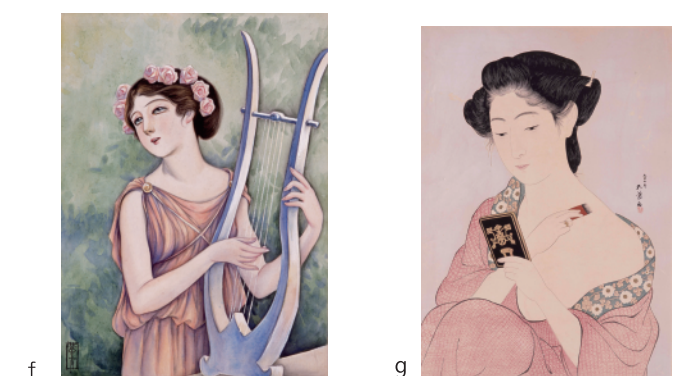
大正～昭和初期、都会生活を楽しむ乙女たちは、「モダンガール」とよばれました。彼女たちの姿をとらえた作品、また彼女たちが愛したモダンなデザインを紹介します。



- a 竹久夢二《星まつり》大正時代末頃、 b 竹久夢二《セノオ楽譜「夢に見る君」》大正13年(1924)、 c 竹久夢二《赤い手袋の女》大正時代初期、
 d 竹久夢二《一座の花形》(柳屋版)大正3年(1914)、 e 中原淳一《娘十二月十月 浮世絵やの娘》昭和14年(1939)頃、
 f 高島華宵《南国の唄》明治34年～大正時代頃、 g 橋口五葉《化粧》大正7年(1918)、 h 小早川清《近代時世粧ノ内一ほろ酔ひ》昭和5年(1930)
 i 竹久夢二《中山晋平作曲全集「東京行進曲」》昭和5年(1930)、 j 竹久夢二《『若草』》昭和4年5月号表紙 昭和4年(1929)、
 k 竹久夢二《少女愛謡現代名歌歌留多》『令女界』新年号付録(部分)

2、のぞいてみたい…異国趣味とエロティシズム

異国趣味や耽美趣味など、乙女の心をくすぐる「危険な香り」は大正時代の美術・文学の特徴です。画家たちの挑戦をのぞいてみましょう。



4、かわいい！乙女グッズ花ざかり

消費社会の到来は、乙女たちをターゲットとしたグッズ市場を生み出した。今でもほしくなる、かわいいグッズの数々をごらんあれ！



グラントワならではの、美術と音楽のコラボレーション！

夢二の楽譜デザイン 「セノオ楽譜」「中山晋平作曲集」大特集！

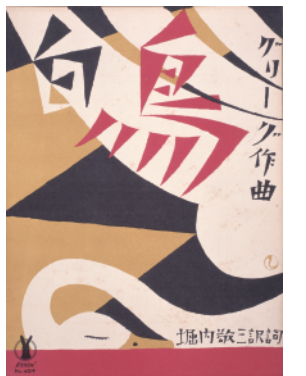
竹久夢二が表紙デザインを手がけたことで知られる「セノオ楽譜」より56点と、「中山晋平作曲全集」全27点を特集展示。「宵待草」をはじめ詩作も行った夢二の叙情性と、先進的なデザインセンスが溢れる傑作がそろっています。楽譜は読めなくても「ジャケ買い」してしまった人も多かったことでしょう。

MUSEUM×THEATER：ミュージアム

コンサート「夢二の見た夢、その淡い」

5月28日(土)14:00開演 (料金等の詳細はグラントワホームページ等で発表します)
 美術館と劇場の複合施設である「グラントワ」ならではの、展覧会と連動したコンサート。展示される楽譜の曲に加え、夢二の詩に書き下ろされた歌曲集「ゆめぢのうた」(作曲：平野一郎)も演奏します！

出演：古川真澄(ソプラノ)、水戸見弥子(ピアノ)



竹久夢二《セノオ楽譜「白鳥」》
大正15年(1926)